

今年度の意見交換会の進め方について

1. プログラムイメージ

区分	第1回 (5/16)	第2回 (6/19)	第3回 (7/11)
前半	①環境学習施設のハード面、市の手続きに関すること		
	施設運営の基本的な考え方	展示に関すること	まとめ
後半	②市民による準備期間の活動計画づくりに関すること		
	課題だし	方針づくり	計画づくり

2. 具体的な内容

(1) 環境学習施設の建設・市の手続きに関すること

- ①平成30年度内にオープンに向けた条例や要綱、予算規模が必要
- ②市民の意見を踏まえたハード面（展示や什器備品）の製作・手配
- ③啓発活動に携わる市民（団体）の育成

(2) 市民による準備期間の活動計画づくりに関すること

- ①今年度3回の意見交換終了後に実際の準備活動をスタートしたい。そのための活動計画づくり。

- ②ワークショップの一般的な方法により大きな方向性をみんなで議論。

KJ法による課題ややりたいことだし → 方針を立てて活動を絞る → スケジュールに落として現実的な計画へ

- ③事務局（役）を設置し、計画づくりにみんなで取り組む

●話し合いのルール●

(ブレインストーミング)

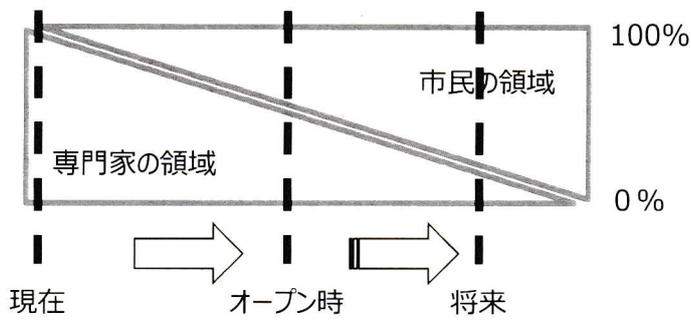
1. 自由な発想
2. 批判しない
3. 質より量
4. 連想と結語
5. 簡潔に1枚1意見

3. 活動計画の具体的なイメージ

	H30 上期	H30 下期	H31	H32 (準備)	H32 (開館)
施設			運営詳細 相手に合わせた展 示解説や案内 ボランティア育成	オープン準備	オープン後運営
広く一般市民 に向けて		例) エコライフフェア で施設のPR		連動	
準備チーム		基本計画勉強 プログラム勉強 理念等言葉化 イベント出展 展示品のサン プル	しくみづくり プログラムづくり 人づくり 事業計画づくり 市民組織、サポ ート体制づくり		
意見交換会	①課題、②方針 ③スケジュール	発展			

※時間が短いので各回の間にも市民会議の開催を支援（市民間の合意形成、自発的な行動づくり、仲間づくり）

●最上位目標 「市民が主役の環境学習施設をオープンさせる」



- 本体
指定管理者+市民、市、
- 第2段ロケット
JV、市民、外部経験者、市
- 第1段ロケット
JV、外部経験者、市

↓位置の確認

●大きなプロセス

新環境クリーンセンター（環境学習施設）の建設計画

- 地元地区との協定、環境学習・環境啓発計画の作成
- 発注仕様書の作成
- 受注者が川重JVに決定
- 建設、運営 → 運営は市民が主役に → 主役の市民を育てる
- （発展的に）市民が市民をもてなす



●スポーツに例えると

- ①スポーツしよう
- ②仲間を集めよう ←いまココ。でもスポーツのルールもわかっていない。
- ③基礎トレーニング
- ④役割分担（ポジション）
- ⑤練習
- ⑥練習試合、フィードバック（反省・ふりかえり）
- ⑦本番



「なべ」と「ぐざい」

以上